



### 子どもたちのスポーツ・文化 芸術活動の継続的な機会確保を

今吉 直樹 議員

**問** 近年、深刻な少子化や教員の過酷な勤務状況により、中学校部活動の持続可能性が厳しさをましている。子ども達が将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するために、部活動改革と学校の働き方改革の両立を、早急に実現していかなければならない。部活動の地域移行の現状と対策はどうか。

**答** 現段階では、どの種目にどのような指導者がいるか完全に把握できていない。今後、各団体と連携を深め、部活動の地域移行後の指導者発掘に力を入れていく。



部活動をする中学生

詳しくはこちら

**答** 国は、令和5年度から7年度までを、休日における中学校部活動の地域移行についての改革推進期間としている。国や県の動向を注視し、実情に合わせ段階的に地域移行を進めるとともに、すべての子どもたちに部活動参加の機会を確保し、



### 空き家の放置・増加を 防ぐ対策強化を

久保 史睦 議員

**問** 本市の空き家状況はどうか。増加を防ぐ対策をどうするか。

**答** 本市の空き家は平成30年の調査で14,770戸、特定空き家を9棟確認している。令和4年度は2月末までに49件相談があった。令和元年度に県司法書士会等と協定を締結し、専門的アドバイスが可能となった。令和4年度には、空き家除去促進に係る連携協定を締結し、所有者が解体しやすい環境づくりに取り組んでいる。

**問** 「財産管理・葬儀について」の項目の活用など、関係機関と協議する。

**答** 児童生徒の命を守る安全対策の推進を

**問** 学校周辺の信号機のない交差点や横断歩道に、横断者注意喚起灯を設置できないか。

**答** 県内の設置事例は把握できていない。他自治体の事例を調査研究する。

**問** その他の質問

・放課後等デイサービスにおける現状の課題と今後について

**問** 売却・解体・相続等の適正な管理をまとめた空き家の終活ノートを作成できないか。

**答** 「私のアルバム」の

詳しくはこちら



### 市民に寄り添い声を 大切に聴く市政推進を

松枝 正浩 議員

**問** 市民との約束である市長公約の進捗状況を公表する考えはないか。

**答** 市議会定例会の施政方針で、主な取組状況を説明している。また各種機会などで、関連する事業の取組状況をあいさつに盛り込み、一部の事業は広報誌にも記事を掲載している。今後、公約の進捗状況の公表は検討していく。

**問** 決算における監査委員意見書の認識はどうか。また具体的な取組をどのように考えているか。

**答** 監査委員の意見書は真摯に受け止めている。また、職員の意識向上のための研修は必要であり、内容や研修方法を今後検討していく。

**問** 牧園地区にある農大跡地の計画状況と所管課はどこか。

**答** 現時点では具体的な計画はなく、計画の所管課も決まっていない。また将来にわたって市民や観光客に愛される場所となるように有効活用策を

詳しくはこちら



### 道路ネットワークの 構築を

宮田 竜二 議員

**問** 市内中心地の渋滞解消策を考えているか。

**答** 日当山線及び駅東線の整備を進めており、完成後は見次交差点付近の交通量の分散が期待される。また、現在整備を進めている新川北線や単人道路の4車線化、(仮称)霧島スマートICの設置により、交通量の分散化が図られると考える。

**問** 単人駅東口の開発により、渋滞悪化が懸念される。あゆみらい通り線を延伸し、線路をアンダーパスして県道473号に接続できないか。

**答** (仮称)単人駅北線は、地元の理解を得られず、断念した経緯がある。近隣の道路の整備状況や住民の意向を確認しながら検討する。



単人駅東口の開発に伴う交通網



本市の道路ネットワーク

詳しくはこちら



### 安心できる避難所整備を

植山 太介 議員

**問** 小浜地区の避難所は、立地条件上の不安を感じる住民も多い。どのような対応を考えているか。

**答** 住民は、居住地域に限らず、開設された全ての避難所を利用できる。防災講座等を通じ、適切な避難のあり方を周知していく。

**問** 使用料や手数料を見直し、子育て支援に限定した歳入を増やし、新たな特定基金の設置はできないか。

**答** 両料金とも、受益の程度に応じ、必要最低限度の金額に留めるべきとされているため、適切でないと考ええる。使用料等を財源とする特定基金の設置は考えていない。

**問** 県は弾道ミサイル落下時に備えて緊急一時避難地下施設として、新たに本市以外の5か所を追加したが、本市の状況はどうか。

**答** 令和3年の県の調査において、地下施設0件を報告した。現在避難施設として利用できる地下施設はない。

**問** その他の質問

・本市のマイクローリーズムについて

詳しくはこちら



### 公証役場を霧島市に 設置を

木野田 誠 議員

**問** 本市には公証役場が設置されていない。県内第2位の人口を有する本市に誘致する考えはないか。

**答** 今後幅広く情報収集を行い、既存施設の有効活用も視野に入れ全庁横断的に検討していく。

**問** 今までの誘致活動は、単発的であったので今後は、司法事務所等関係団体と連携して、国への要望活動を作っていく。

**霧島神話の里公園に第2の子ども館設置を**



神話の里公園からの眺望

**問** 上野原に「雨の日でも親子で遊べる子ども館」が開館して1年半となり10万人以上の利用者となっている。第2の子ども館として諸々の条件の整っている霧島神話の里公園に設置する考えはないか。

**答** その他の質問

・移住定住促進事業について

詳しくはこちら